



実力派のミュージシャン3組が熱唱を繰り広げたCOMSガーデンストリート

きて助けた。フェア期間中(3月13日〜27日まで)の同22日には、「COMSガーデンストリートライブ」を開催。中央階段に設営された特別ステージで、関西を中心に活躍する人気デュオ、X+1(エクスト)ら実力派のミュージシャン3組が熱唱を繰り広げ、多くの市民らが足を止め、臨場感のあるライブイベントを楽しんだ。

今回は、毎月レギュラーで出演しているX+1が、感謝の気持ちを込めてCOMSガーデンのテーマソングを制作。お披露目にはイメージキャラクター

ナイト

東日本大震災復興支援

昇る「シオツ」が同地下鉄千林大宮駅前でキャンドルナイトを開いた。常翔学園の合唱部のアカペラライブも行われ、道行く人もその歌声に足を止

めていた。またオリジナルなカバーを付けたキャンドルの火のゆらめきを見つめ、被災地への思いを深めていた。当日集まった募金や近隣の協力店によって集められた募金は総額5万6197円。全額を日本赤十字に義援金として寄付した。



渡航を前に、英語教師のエイドリアンさんの英会話講習を受ける生徒たち

「What do you like?」。

渡航を間近に控えた放課後。校内の談話室からにぎやかな英会話が聞こえてきた。

市内の私立高で教壇に立つオーストラリア人のエイドリアンさん(37)が、派遣生徒に日常会話を教えていた。「元気があっていい。『5W1H』が分かっているれば、コミュニケーションは大丈夫さ」と笑顔を見せた。

墨江丘中市内公立中で初

住吉区の墨江丘中学校(渡辺雅彦校長)は2014年度から、生徒に海外の学校を体験させる学校単独の国際交流派遣事業に取り組んでいる。市内の公立中では初の試み。3月末には、選抜された生徒がオーストラリアと台湾で現地の授業に参加したり、ホームステイを実施。学校側は「生徒の国際的視野を広げ、学校全体で国際理解を深めるきっかけにしたい」としている。(光長いづみ)

学校単独で海外派遣事業 国際感覚養って

国際派遣事業は、校長の裁量で各校独自の取り組みができる「校長経営戦略予算」を活用。派遣生徒は、1、2年生を対象に募集し、日本語と英語による作文と面接で選抜した。15年度新たに加わったオーストラリアには、3月27日から4泊5日機中2泊の日程で、2人がビクトリア州ワンガラッタ中を訪れた。14年度も実施した台湾

派遣には、27日から2泊3日で5人が挑戦。年末には今回訪問する新北市正徳国民中学校から20人の生徒が同校を訪れるといった交流も行っている。「将来に絶対役立つと思い、参加した」とオーストラリア組の清水大翔君(2年)。台湾組の吉原望未君(2年)は「ボーイスカウト部があるらしいので、体験したい」と目を輝かせ、酒井花さん(2年)は「日本のことを伝えて、台湾の文化も持って帰りたい」と話す。



協定の締結を終えた事業者ら

近場で発見!! 自転車を通える地

蒲生 ホールスタッフ・キッチンスタッフ
 元気で笑顔のそこのあなた!
 「おやじすし」と一緒に働きませんか?

蒲生 ホールスタッフ
 “かもよん”人気イタリアン
 アルバイト急募!

蒲生2 トリマー大募集
 ペット同伴で出勤OK!
 週1〜、学生可、土日祝休み